

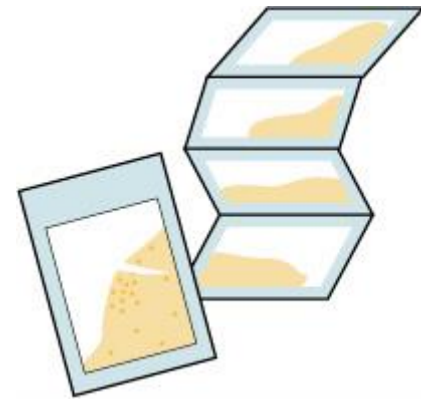
子どもの薬と 上手な飲ませ方

井上調剤薬局 城北店

松本 光恵

小児の薬の種類

- 粉薬 – 缶の中に乾燥剤とともに保存
⇒ 抗生剤、漢方薬
- 水薬 – 冷所保存
- 坐薬 – 冷所保存
- 貼り薬 – 気管支拡張剤
- 点眼薬 – 常温保存
- 吸入薬...等



薬を預かるときの注意点

- ・ 必要最小限の量だけを預かる
 - ⇒ 粉薬の場合、一回分ずつ小分けされている
 - ⇒ 水薬の場合、一目盛りずつ飲むようになっているので密閉できる容器に一回分だけいれてもらう
 - ⇒ とんぷく薬の場合、二回分を目安に持ってきてもらう
- ・ 薬についての注意事項を聞いておく

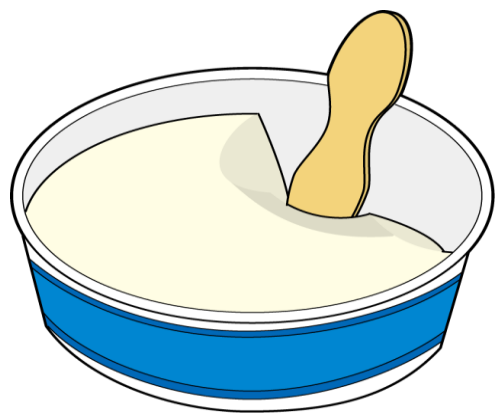
粉薬の基本的な飲み方

- ・少量の水に溶かす
 - ⇒溶けやすい薬と溶けにくい薬がある
 - ⇒混ぜすぎると余計に苦味が出ることもあり
- ・溶けにくい薬はペースト状にする
 - ⇒少しずつ水を加えペースト状にする
 - ⇒上あごか頬の内側につけ、最後に水分を飲ませる
 - ⇒味が分かるので舌の上にはのせない



飲むのを嫌がる場合

- ・薬を飲む前に氷など冷たいもので舌を冷やす
- ・味が濃くて冷たいものや甘いものに混ぜる
⇒アイスクリームやプリン、ジャムなど



飲むのを嫌がる場合

⇒主食には混ぜない

⇒スプーンに少しのゼリー等を敷き、その上に薬をのせさらに上からゼリー等かける



⇒クラリス、ジスロマックなどはヨーグルトやスポーツ飲料と混ぜたり口直しによって苦くなる

飲むのを嫌がる場合

- ・ オブラートを使う
 - ⇒ 平皿に水を入れる
 - ⇒ オブラートを水に浮かべる
 - ⇒ オブラートの真ん中に薬をおく
 - ⇒ 爪楊枝で薬を包む
 - ⇒ そのまま水といっしょに飲む



漢方薬の飲ませ方

- ・ 基本的には粉薬と同じ
- ・ ジュース等に溶かす場合
 - ⇒ 1回分の薬をティースプーン1、2杯のお湯を加え溶かし、その後ジュース等を加える
- ・ ざらつきを嫌がる場合
 - ⇒ スプーンの裏側などで細かくつぶす
- ・ 水あめと混ぜる

水薬の飲ませ方

- 甘い味が付いているものが多いのでそのまま飲みやすい
- 1歳半ぐらいまで
 - ⇒ スポイトを使うのが一番飲ませやすい
 - ⇒ 横抱きにする
 - ⇒ 薬は一気にいれず、スポイトの目盛で0.5mLずつ飲ませると吐き出しにくい
- 1回分だけシャーベット状にする



薬を飲ませる時のポイント

- ・ 食事の時間にこだわらない
 - ⇒ 満腹になるとそれ以上飲むことができない
 - ⇒ 小児の場合、一日三回なら4～5時間ぐらい、二回なら8時間ぐらい空ければ食事に関係なく飲むことができる
- ・ 薬を飲むのが好きでも嫌いでも、きちんと飲めたら褒めてあげる



坐薬を入れる時のポイント

- ・ 冷蔵庫から出したばかりで坐薬が冷たい場合は手である程度温める
- ・ 坐薬の先に水やワセリンをつけるといれやすい
- ・ 坐薬を挿入後は、体を縦にする
 - ⇒ 乳幼児なら抱っこする
 - ⇒ 肛門を押さえる刺激によって排便が誘発される

坐薬を入れる時のポイント

- 挿入後に坐薬が出てきた場合
⇒30分以内なら再び挿入
- 二種類の坐薬を使いたい場合
⇒アルピニー坐薬とナウゼリン坐薬
⇒ナウゼリン坐薬を先に入れ、30分以上空けてからアルピニー坐薬を使用

最後に

家族以外の大人が褒めてくれるということは、子ども達にとってとても嬉しいことです。

当薬局でも飲めないと言っていた子が明るい雰囲気を作るだけでもすんなり飲めたこともありました。

飲めたことに対して大げさなぐらい褒めてあげてください。

子ども達が薬を飲むことによって一日でも早く日常生活に戻れるようにご協力お願いします。

ご清聴ありがとうございました

